

雑司が谷地区 防災マップ

企画・発行：雑司が谷地区まちづくり協議会
財団法人 豊島区街づくり公社

編集協力：株式会社 エコライン
発行：1998年3月

見えて役立つ防災マップ

この防災マップは、地域に住む私たちが必要とする、防災に関するいろいろな情報が一目でわかるように作りました。この防災マップはいざという時に役に立ちます。いつでも見える所に貼り、ふだんから眺めるようにしてください。

3つの視点 この防災マップの内容は3つの視点でまとめました。地図を見る時もその視点で見ることが、いざという時に役立つ見方となります。あなたの家の近くで、この3つのものは、どこに、何がありますか。よく確認してください。

どこが
危ない

どこが
安全

どこに
役立つものがある

3つの分類 この防災マップの情報は、次の3つに分類されます。

みち

「みち」は日常生活に必要な施設であり、災害の時にも大きな役割を果たす施設です。しかし同時に道には危険もたくさんあります。道の幅やその両側の危険物（崖や塀）についてまとめています。

みず

大地震の後に最も必要とされるのが「みず」です。消火用水や飲料水は直ぐに必要となります。しかし大地震の時には水道の水はあてにすることができません。災害の時に役立つ水が、街のどこにあるのかをまとめています。

みどり

広域避難場所、一時集合場所など安全な所には緑の多い施設がたくさんあります。「みどり」には火災から建物や人を守る大切な役割があります。避難の時に緑は大切な目印にもなります。緑と避難の現況についてまとめています。

凡例

みち		環5の1・補助81号線		インナーリンク
		道路幅員 4～5m		よう壁
		道路幅員 5～6.5m		崖
		道路幅員 6.5m～		ブロック塀等

みず		貯水槽 (5t)		防災井戸 (道路から近い)
		貯水槽 (40、100t)		防災井戸 (道路から遠い)
		プール		

みどり		公園		広域避難場所
		公共施設		救援センター

「この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を使用したものである。(承認番号) 9都市施交第297号」